

ドライ・ランドリー用 乾燥機

T-355 取扱説明書

トスペット

ご使用の前に必ず取扱説明書を読んで、
正しく作業してください。
お読みになった後は必ず保存してください。

T O S E I 東 静 電 気 株 式 会 社

まえがき

このたびは、東静電気の『トスペット・Tシリーズ』をお求めくださりまして誠にありがとうございました。

このトスペット・Tシリーズは、数々の特徴を持ち、ご期待に十分こたえ、お店の繁栄をもたらすものと確信いたします。

このTシリーズをご使用になる前にぜひこの「取扱説明書」をご一読ください。

正しく取り扱っていただければ、機械は常にスムーズに働き、優れた性能をいつまでも発揮し、ご満足いただけるものと確信いたしております。

●お読みになった後は所定の場所に、大切に保存してください。

目 次

1. 乾燥機安全上のご注意	2
1-1) 危険	3
1-2) 警告	4
1-3) 注意	5
2. 据付工事	6
2-1) 機械運搬搬入	6
2-2) 据付基礎工事	6
2-3) 電気工事について	7
2-4) 配管工事について	8
3. 機械の概要	10
3-1) 予備乾燥について	10
4. 構成部の働き	11
4-1) リントフィルター	11
4-2) ヒーターストレーナー	11
5. 作業開始の前に	11
6. 運転操作方法	12
6-1) 各スイッチの説明	12
6-2) 変更スイッチ	13
6-3) 工程セット	14
6-4) 表示部	14
6-5) トラブルモニター	15
7. 自動運転の操作例	15
7-1) 標準コースで乾燥	15
7-2) 乾燥の時間を変更する時	15
7-3) 乾燥の温度を変更する時	16
7-4) 冷風の時間を変更する時	16
7-5) 生蒸工程追加する時	16
7-6) 生蒸の時間を変更する時	17
7-7) 生蒸工程削除	17
7-8) 予備乾燥「入・切」	17
7-9) ドラム回転「正逆・一方」	17
8. 整備点検	18
9. 機械の診断	18
10. 乾燥機標準チャート	19
11. 仕様	19
12. 保証とアフターサービス	20

1, 乾燥機安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください

- この取扱説明書「安全上のご注意」に書かれている内容は、お客様が購入された製品の仕様には含まれない項目も記載されています。

お買い上げいただいた、製品（本機）及び取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視し、誤った取り扱いをして危険を回避できなかった場合死亡、重傷、焼損を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



危険

- ◆ 本機に使用する溶剤は引火性です。その使用方法を誤ると火災や爆発を招く恐れがありますので、下記の内容をお守りください。
 - ◇ 本機の周辺では火気厳禁です。
本機の周辺にはボイラー、ストーブ、電熱器などの火気機器を絶対に置かないでください。
又、本機の周辺ではタバコを吸ったり、火気を絶対に取り扱わないようにしてください。
 - ◇ 衣類に入っているライター、マッチ、金属類などは、点火源となりますので、ドラムに投入する前に必ず取り除いてください。
 - ◇ 溶剤は石油系ドライクリーニング専用溶剤をご使用ください。
 - ・石油系ドライクリーニング専用溶剤以外の引火点の低い溶剤(引火点 40℃以下のもの)で、洗淨した衣類は乾燥しないでください。
 - ・合成洗剤で洗淨した衣類は絶対に乾燥しないでください。
 - ◇ 前処理剤およびその他の助剤について、今一度その引火点をご確認ください。
溶剤の引火点(40℃)以下を有するものを使用して洗淨した衣類は乾燥しないでください。
 - ◇ 定格以上の負荷量を入れないでください。
 - ◇ 静電気の発生を防ぐため、帯電防止剤を配合した溶剤で洗淨した品物を投入してください。
静電気の発生しやすい衣類等は、乾燥機内に静電防止紙等を入れて乾燥を行ってください。
- ◆ 運転中は危険ですので、回転部に手や身体を入れないでください。
巻き込み等けがの原因となります。
- ◆ 衣類の出し入れは、必ずドラムが停止してから行ってください。ドラムが回転中に絶対にドアを開いたり、手を入れたりしないでください。
- ◆ 脱液していない衣類は乾燥しないでください。
- ◆ 本機の後カバーを外したままで絶対に運転しないでください。
「回転」している部分に触れたり巻き込まれたりして、ケガをする原因となります。
- ◆ ポリプロピレン系の衣類は、自然発火することがありますので、乾燥しないでください。
- ◆ 動植物油、シンナー、アルコール、ガソリン(クリーニング溶剤JIS,K-2201工業用ガソリン5号を除く)等の付着衣類の乾燥は、自然発火する恐れがありますので、乾燥しないでください。
- ◆ 乾燥した衣類は、速やかにドラムより取り出してください。
取り出した衣類は、熱いまま積んでおかないでください、発火の恐れがあります。
- ◆ 運転中はドアの開閉はしないでください。
- ◆ 何か緊急に機械を止めなければならない時は、機械の電源及び元電源を切ってください。



警告

- ◆ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ◆ 万一、本機の内部又は電装部等に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ◆ お客様ご自身で本機を修理・改造はしないでください。
火災・感電の原因となりますので、絶対におやめください。修理に関するご相談は、別紙「取扱説明書」をご覧ください。販売店に修理をご依頼ください。又、警告ラベルの取り外し、破損、改装はしないでください。
- ◆ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないでください。機械が振動し故障の原因となります。
- ◆ 本機の上に毛布、シーツ等の品物及び容器類、金属類を置かないでください。
火災や故障の原因となります。
- ◆ 本機上部のスイッチボックス蓋を外す時は必ず元電源を切ってください。
感電の恐れがあります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。
- ◆ 感電の恐れがあるときは、三相200Vの漏電遮断器の電源を切ってください。
マイコン、インバータが破損する恐れがあります。
- ◆ 本機熱源(スチームヒーター)部及び配管には、手で直接触れないでください。
やけどの恐れがあります。
- ◆ 本機械は衣類を乾燥する機械ですので、それ以外の目的で使用しないでください。
- ◆ 部屋の換気を充分に行ってください。
- ◆ トラブル解除の運転はしない。
トラブル発生時はトラブルの原因を調べ、処置してから再スタートしてください。
トラブルの原因を処置しないまま運転すると機械がより危険な状態を招く恐れがあります。



注意

- ◆ この機械は「乾燥設備」です。
法律により1年に1回の自主定期検査が必要です。
またその記録を3年間保管するよう義務付けられています。
(労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項、第299条)
- ◆ 購入後、年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。
本機の内部に、ほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となる事があります。掃除は、特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。
- ◆ 機械の操作は、「取扱説明書」を十分熟読し、理解した上で運転してください。
不慣れな者が運転する場合は、必ず熟練者立会いの上、運転させてください。
- ◆ 循環及び給排気系統を定期的に掃除してください。
- ◆ 機械の接地(第3種接地工事)が完全に行われていることを確認してください。

2, 据付工事

2-1 機械運搬搬入

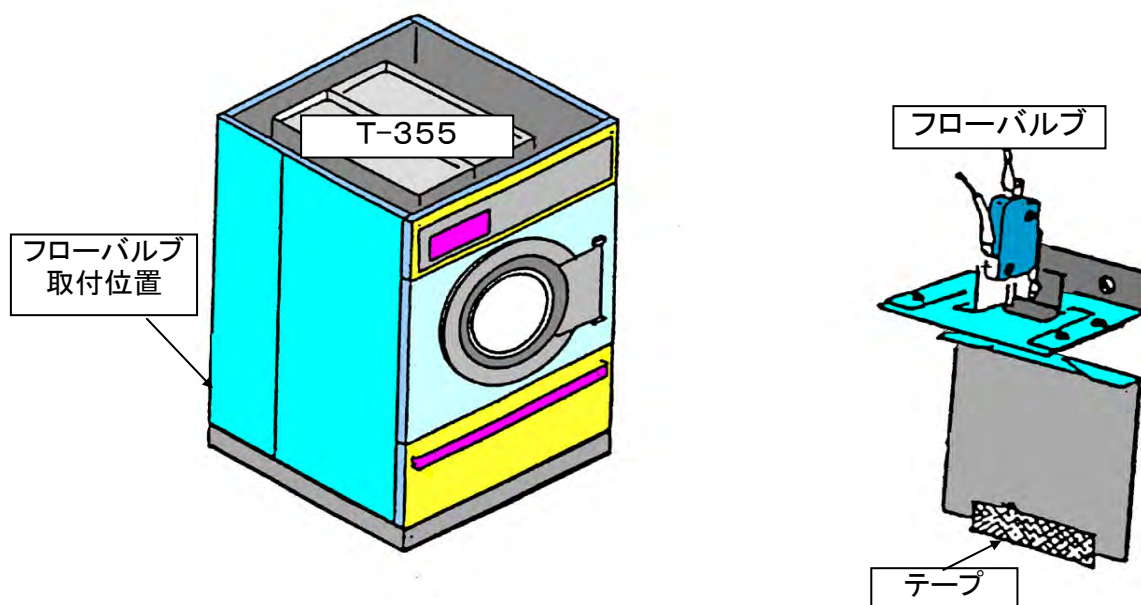
(1) 輸送する際、ロープ掛けて本体が傷まないように、ロープの締め過ぎに十分注意してください。

又、積み降ろしの際の吊具として、本体上部に、千鳥配置にU方フックがネジ止めされています。

(2) 輸送用固定テープの除去

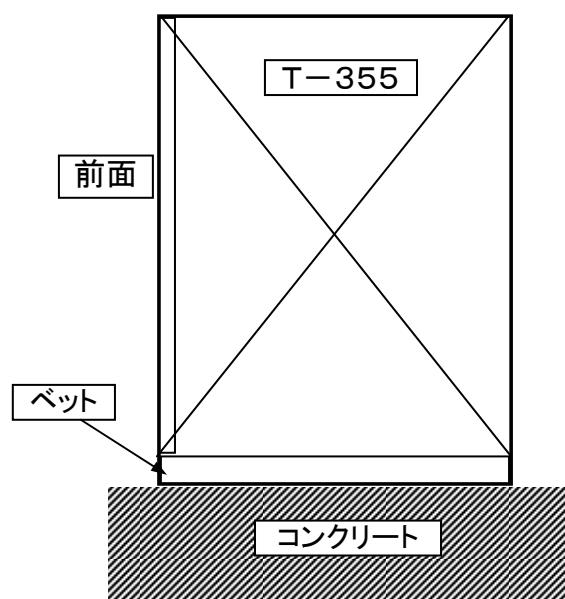
風量調節用のアルミ板(フローバルブ)を輸送中の振動防止のため固定してあります。

下記の位置にありますので運転前にならずはがしてください。



2-2 据付基礎工事

(1) 据付方法



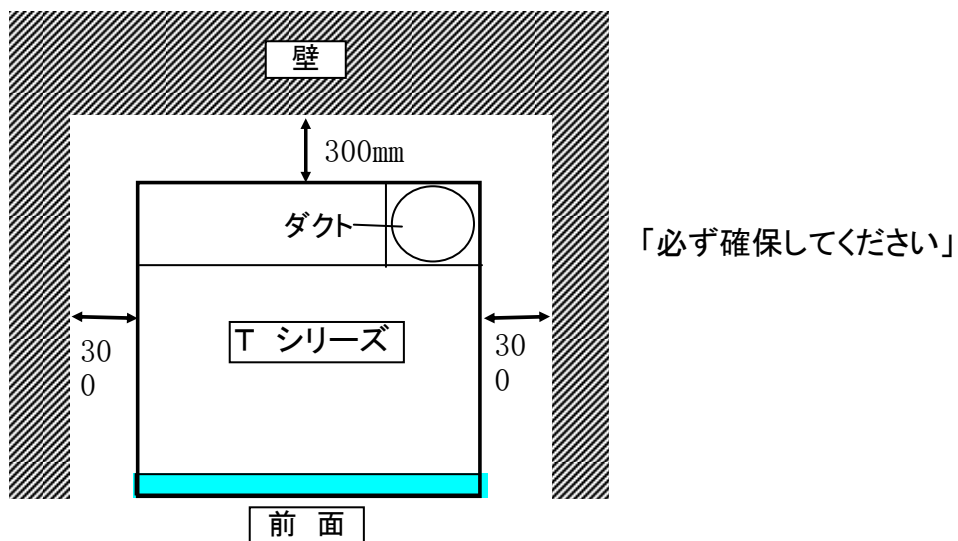
水平レベル

- 1.機械の水平レベルを出してアンカーボルト等で固定してください。
- 2.機械と基礎コンクリートが完全に密着するように工事してください。

* ベッドに対してコンクリートが密着している。

(2) セッティングスペース

- メンテナンス時に最低必要なスペースです。必ず確保してください。



- * 壁、その他の可燃物より十分離れている場所で使用してください。
- * 上方向は450mm以上のスペースを取ってください。

2-3 電気工事について

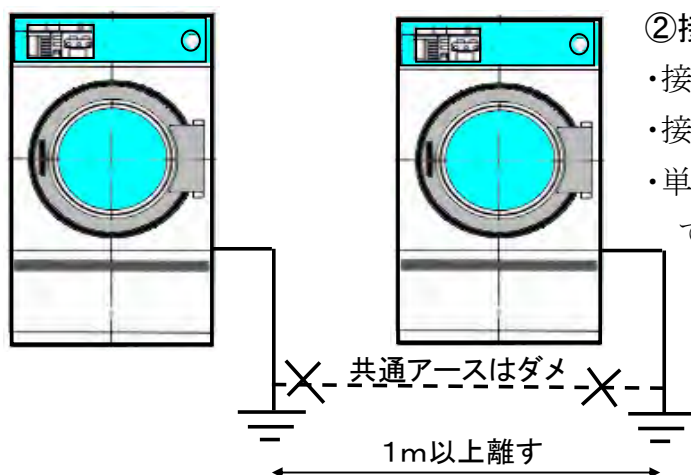
(1) 電気容量

機 種	駆動モーター (KW)	ブロアモーター (KW)	最大消費 電力 (KW)	電気工事仕様	
				ヒューズ(A)	電線(mm)
T-355	0.75	0.75	1.5	30	3.5

(2) 接地（アース工事）について

① 接地の種類

接地工事の種類	接 地 抵 抗 値
D種接地工事	100Ω(オーム)以下



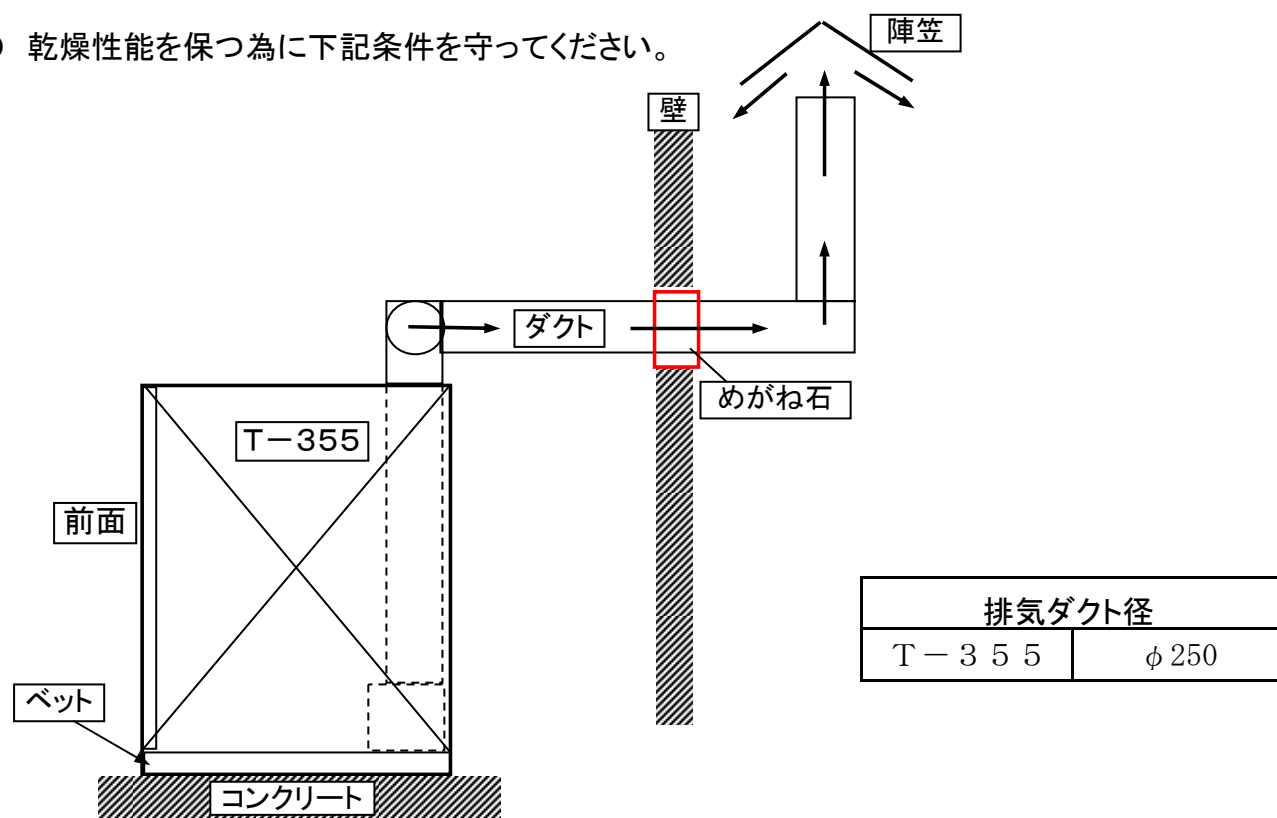
② 接地工事上のご注意

- ・接地工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- ・接地(アース)工事は必ず単独アースとしてください。
- ・単独アースは他のアースと1M(メートル)以上離してください。

2-4 配管工事

(1) ダクト工事について

- 乾燥性能を保つ為に下記条件を守ってください。

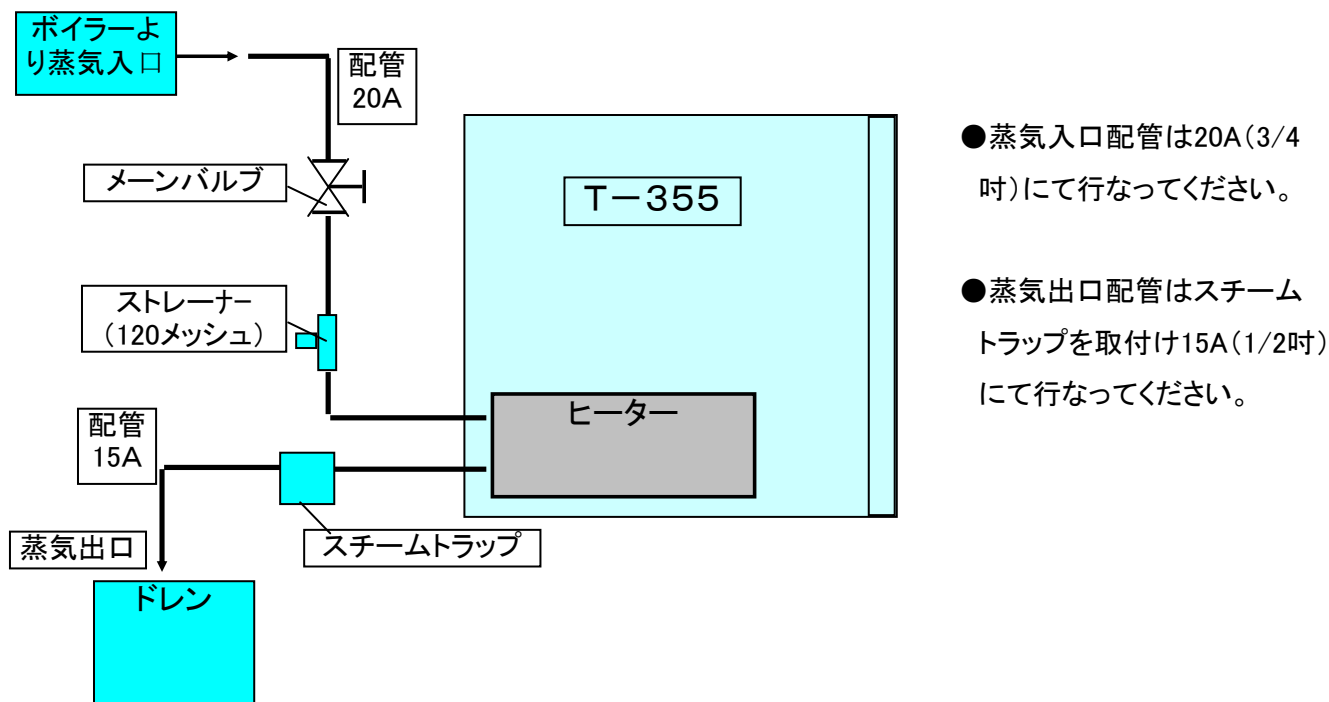


- ① 排気ダクトの配管の長さは、「計算長さ25m以内」になるようにしてください。
- ② 機械からの排気は、指定口径によって必ず屋外へ排出してください。
指定口径 φ250 (小さい管を使用しますと十分に排気できず、乾燥性能が大幅に低下いたします)
- ③ 排気管は、亜鉛鉄板又は同等以上の「強度」「耐熱性」及び「耐腐食性」を有する不燃材料を使用してください。
- ④ 排気管は途中の曲折を少なくし、できるだけ短くなるように工事してください。
- ⑤ 排気管が可燃性壁体を貫通する場合は、めがね石などを用いて工事をしてください。
- ⑥ エルボの使用は3ヶ所以内にし、できるだけ曲げRの大きいものを使用してください。
- ⑦ 排気管の出口最先端は風雨が入らないように下方に向けるか、「陣笠」「H型のベントトップ」を取付けてください。
- ⑧ 排気管の先端に「金網」や「ガラリ」などを取付けますと風路が妨げられ排気不良を起こしたり細かい綿ぼこりが蓄積して乾燥不良の原因になります。
- ⑩ 排気ダクトは掃除できるように配管してください。

(2) スチーム配管工事について

① スチーム配管工事

・スチーム配管は下図のように配管してください。



② スチーム配管工事とメインバルブの操作について

- ◆メインバルブは電磁弁より1メートル以内に取り付けてください。
- ◆ストレーナーは付属の120メッシュを図のように取り付けてください。
- ◆メインバルブは必ず全開して操作してください。
- ◆ストレーナーは1ヶ月に1度点検掃除してください。

③ 蒸気バルブの取り付けと取扱いについて

- ◆配管施行時、付属バルブを機械の近くの操作しやすい場所に必ず取り付けてください。
- ◆作業開始時バルブを開くときは、急激に開かないで徐々に開いてください。
急激に開くと蒸気圧によるハンマー現象でヒーターのパンクの原因になります。
- ◆作業終了後はバルブを必ず締めてください。

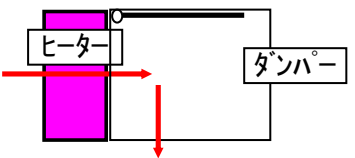
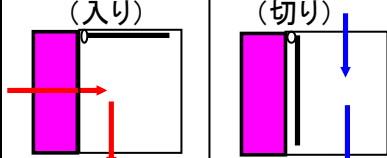
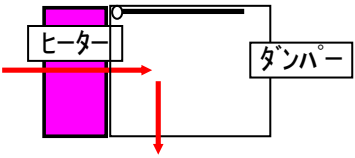
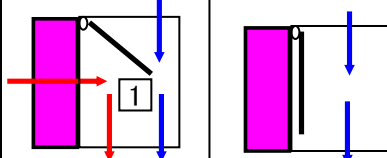
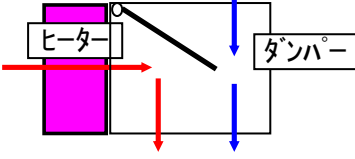
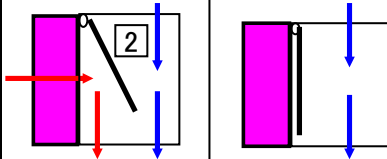
3、機械の概要

- トスペット「T-355型」乾燥機は「ランドリー」「ドライクリーニング」兼用の乾燥機です。
石油系溶剤(クリーニングソルベント)以外のドライ溶剤には使用できません。
ランドリーは次工程への「乾燥」及び「タンブリング」効果の為、又ドライクリーニングの場合は「乾燥」及び「仕上工程」の一部としてご使用ください。
尚、ドライクリーニングでご使用する場合は排気ダクト、リントフィルターの掃除及び「過負荷運転」「脱液不足」「異物の混入」等【使用上の注意】を良く守ってご使用ください。

3-1 予備乾燥について

- 予備乾燥は、被乾燥物が湿っている場合に、高温の熱風でも縮み等の変化が無い品物に対して乾燥時間の短縮目的等に使用してください。
- ドライ物で、温度に弱いデリケート繊維等の品物については、品物の安全のため予備乾燥なしで使用してください。

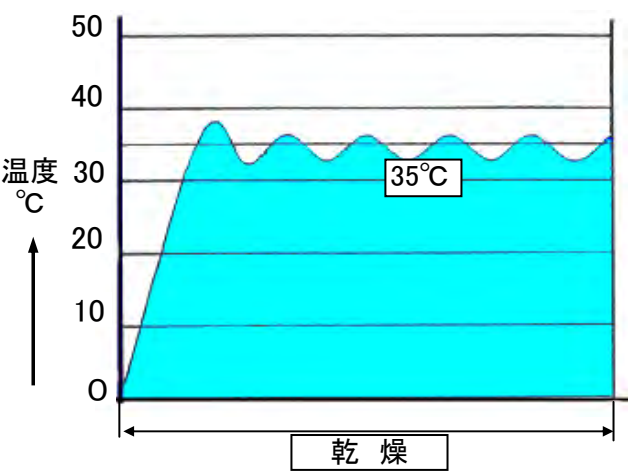
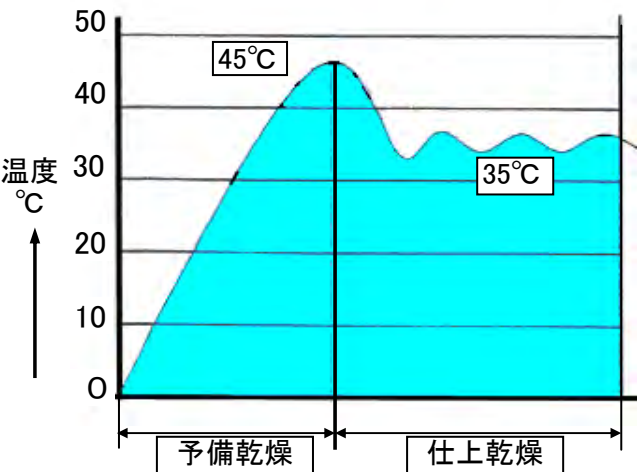
(1) 予備乾燥「入」時の設定温度とダンパー位置

設定温度	予備乾燥温度	予備乾燥時のダンパー位置	仕上乾燥時のダンパー位置	入口温度
60℃以上	60℃			(150℃)
40～59℃	55℃			(100℃)
39℃以下	45℃			(70℃)

(2) 予備乾燥有無の比較例 (例) 設定温度39℃以下での乾燥(ドライ物 デリケート繊維)

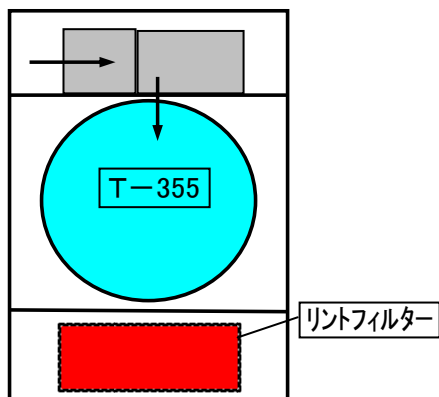
● 予備乾燥「入り」 35℃設定

● 予備乾燥「切り」 35℃設定



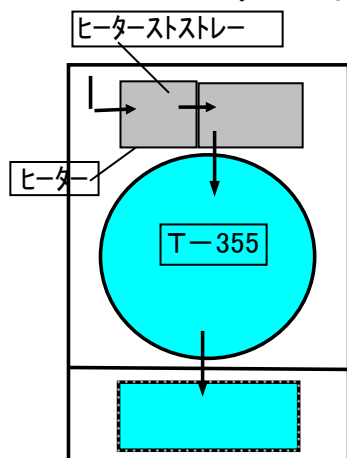
4, 構成部の働き

4-1 リントフィルター



- 乾燥中に衣類から出た「ゴミ」「ホコリ」をファンの手前で取り除く為の「リントフィルター」が取り付けられています。
- リントフィルターが目づまりを起こすと乾燥効果を低下させるだけでなく、ドライクリーニングの場合発火の原因になる可能性がありますので、必ず毎日「リントフィルター」及び「リント室」を掃除してください。

4-2 ヒーターストレーナー



- ヒーターの入口部にゴミ取り用のヒーターストレーナーが取り付けられています。このフィルターにホコリが、溜まりますと乾燥の能力が低下し、乾燥効果を低下させます。
- ヒーターストレーナーは毎週掃除してください。

5, 作業開始の前に

5-1 電源の供給

電源スイッチを入れる ----- 電源ランプ点灯

5-2 蒸気の供給

蒸気元バルブを開く ----- 圧力計で圧力の確認 0.4～0.6MPa
(4～6kg/cm²)

5-3 リントフィルター点検

前パネルを開きリントフィルター確認 ----- ゴミ、ホコリがあれば掃除

5-4 排気ダクトの点検

- 排気、ダクトは、長く使っている間には、「ゴミ」「ホコリ」等がつまることもあります、定期的に掃除してください。

5-5 負担量は適正に

負担量は乾燥効果を大きく左右しますので、処理能力以上は投入しないようにしてください。

- ドライ物の場合80%前後で行うと仕上がりも良くなります。

5-6 乾燥後の品物の処理は素早く

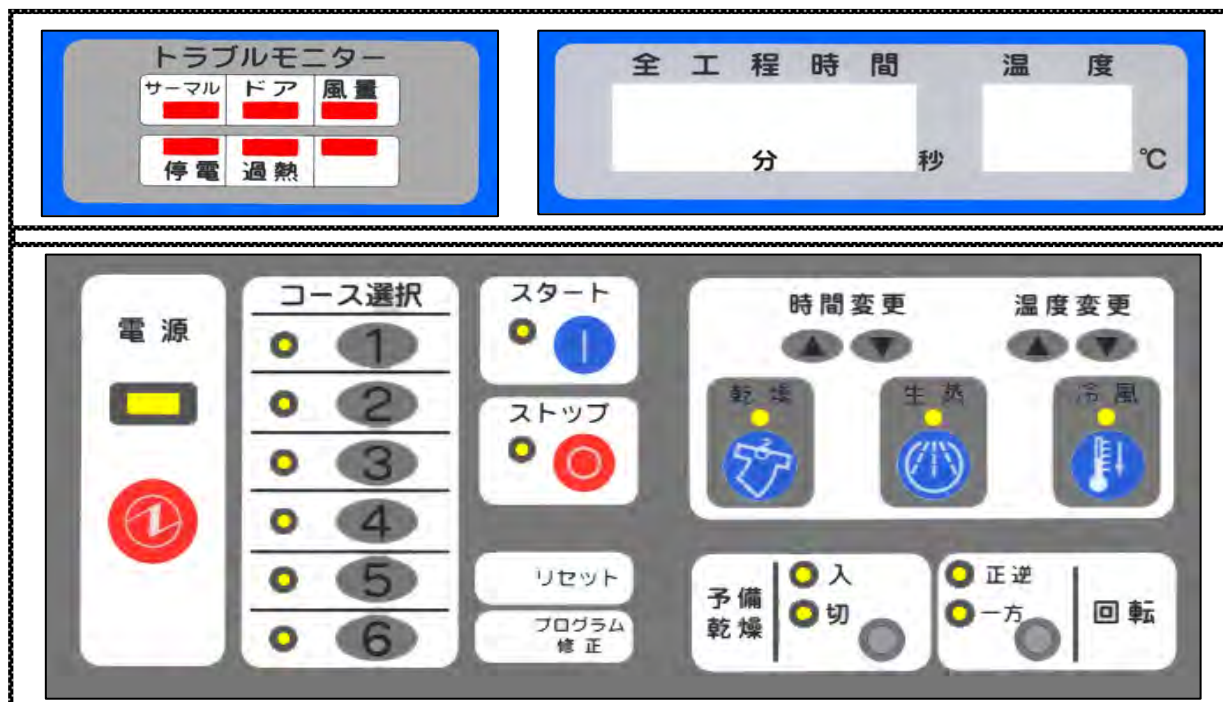
- ポリプロピレン系の繊維及び油汚れ(特に動植物油)のついている衣類はあたたかい状態で積み重ねておくと自然発火することもありますので、乾燥後の衣類は機械からすぐに取り出して「ハンガー」等に掛けてください。

5-7 シワ防止機構について

- この乾燥機は、運転時間が終了した後も、30秒に1回ドラムが回転しますのでご注意ください。これは、品物を取り出すまでの間に品物にしわがつかないようにするための動作です。尚、停止する場合は、ストップ リセット を押してください。

6. 運転操作方法

コントロールプレート



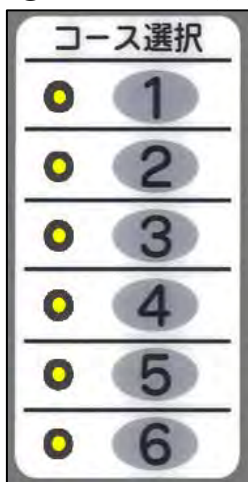
6-1 各スイッチの説明

① 電源



- 操作回路へ電気を供給するスイッチで、スイッチONで電源ランプが点灯します。

② コース選択



- 各コースの洗濯スイッチで1～6コースを被洗物に合せセット出来ます。

③ スタート



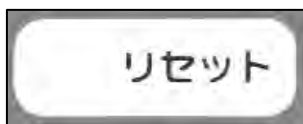
- 自動、手動運転コースのスタートスイッチで、一時停止（ストップスイッチ）後の再スタートのスイッチでもあります。スタートスイッチを押すとランプが点灯します。

④ ストップ



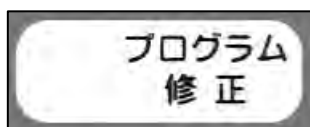
- 自動、手動運転の一時停止用スイッチです。

⑤ リセット



- いつでも電源「入」の状態に戻すスイッチで自動運転中は必ずストップスイッチを押し、一時停止にしてからリセットスイッチを押してください。

⑥ プログラム修正



- 各コースのプログラムを修正する時は、このスイッチを押してから（ランプが点灯）1コース～6コースの内容を修正すると各コースに修正内容が記憶されます。

6-2 変更スイッチ

① 時間変更



- 各工程の時間を修正するスイッチで秒セット、分セットができます。
- 時間の増減は ▲（増）、▼（減）スイッチで行ってください。

② 温度変更



- 各工程の乾燥温度を修正するスイッチで10℃から80℃までセットが出来ます。
- 温度の増減は ▲（増）、▼（減）スイッチで行ってください。

③ 予備乾燥



- 乾燥工程で予備乾燥「あり」「なし」の切替スイッチです。予備乾燥は「入」で、乾燥は予備乾燥→仕上乾燥の順に工程は進行します。

④ ドラム回転切替



- ドラムの正逆転、一方回転を切替えるスイッチで正逆、一方回転を任意に選択することが出来ます。

6-3 工程セット



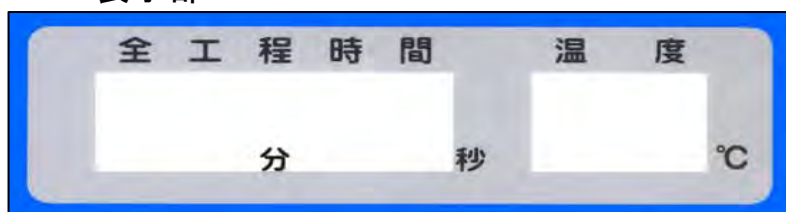
*「生蒸工程」オプション対応となります。

※ 標準仕様では、生蒸工程の部品が取り付けられていません。

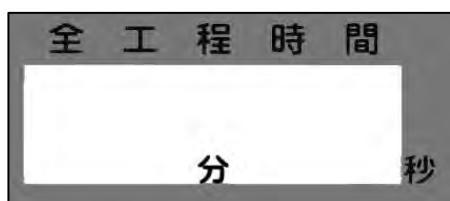
「生蒸工程」使用時は、オプション部品を取り付けてください。

1. 乾燥から冷風までの工程セットに使用するスイッチ(キー)です。
2. プログラム変更時は工程セットの各スイッチ(キー)を押すと工程表示ランプが「フラッシング」します。
3. 工程セットを間違えて入れたときは削除したい工程の工程セットキーをもう一度押すことにより削除できます。

6-4 表示部

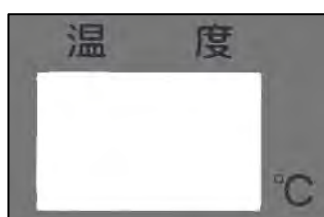


① 全工程時間



- 各コースの全工程時間と残り時間を表示します。

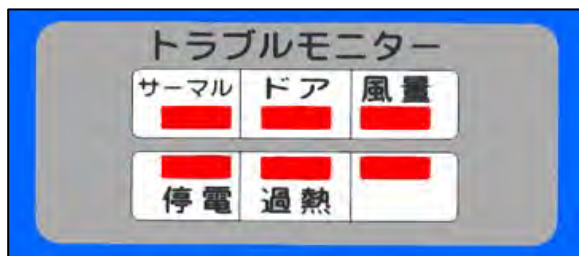
② 乾燥温度



- 設定乾燥温度とドラム内温度を表示します。

6-5 トラブルモニター

トラブルモニター

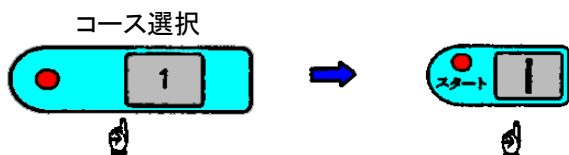


- 機械運転中に不具合があった場合、ブザーが鳴り「トラブルモニター」が点滅します。

ランプ名称	内 容	表示方法		機械の動き	解除方法		
		ランプ	ブザー		ブザー	継続	終了
サーマル	OL-1 サーマルが作動した時	点滅	継続音	ドラム回転停止状態	ストップ SW「ON」	—	リセットSW「ON」
	OL-2 “ ”	“ ”	“ ”	機械停止状態	“ ”	—	“ ”
ドア	ドア開の時	点灯	—	一時停止状態	—	ドア閉スタートSW「ON」	リセットSW「ON」
	ドア開でスタートSW「ON」の時	点滅	継続音	機械停止状態	ドア閉又ストップ SW「ON」		
風 量	排風量減少の時	点灯	—	—	—	—	—
停 電	運転中停電が起き復電した時	点滅	継続音	機械停止状態	ストップ SW「ON」	—	リセットSW「ON」
過 熱	温度が設定温度より15℃以上オーバーの時	“ ”	“ ”	ドラム回転停止状態	“ ”	—	“ ”

7、自動運転の操作例

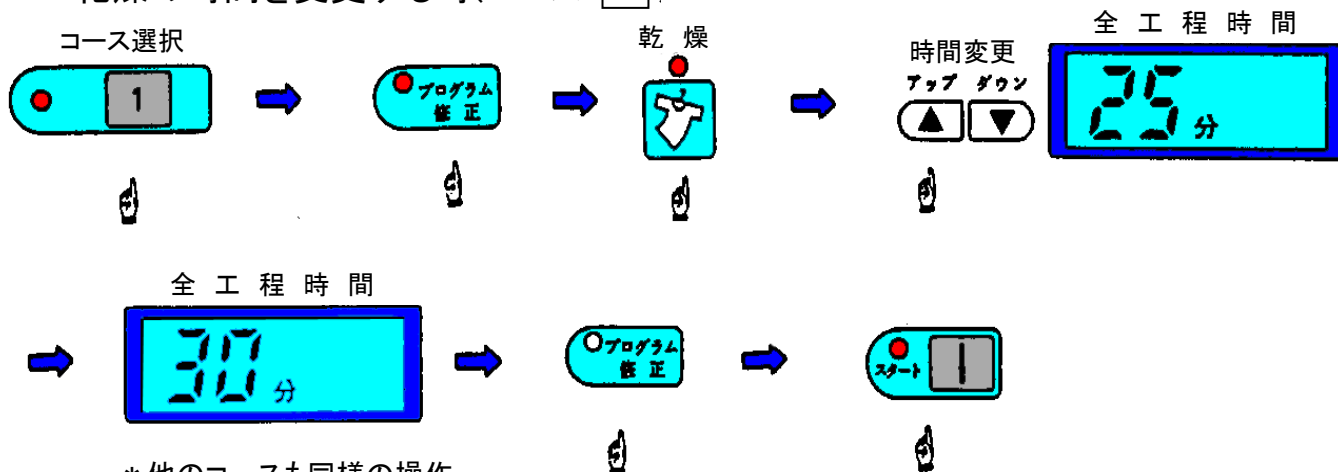
7-1 標準コースで乾燥(コース 1)



* 他のコースも同様の操作

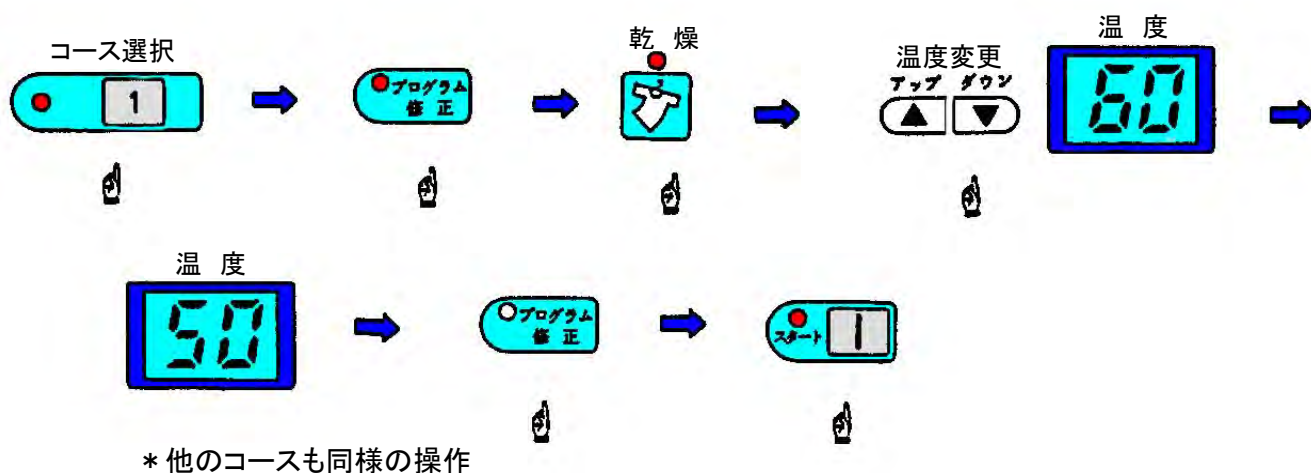
- ① コース選択 1 を押す(ランプが点灯)
- ② スタートスイッチを押す(ランプが点灯)

7-2 乾燥の時間を変更する時(コース 1) 標準 25分→30分に変更

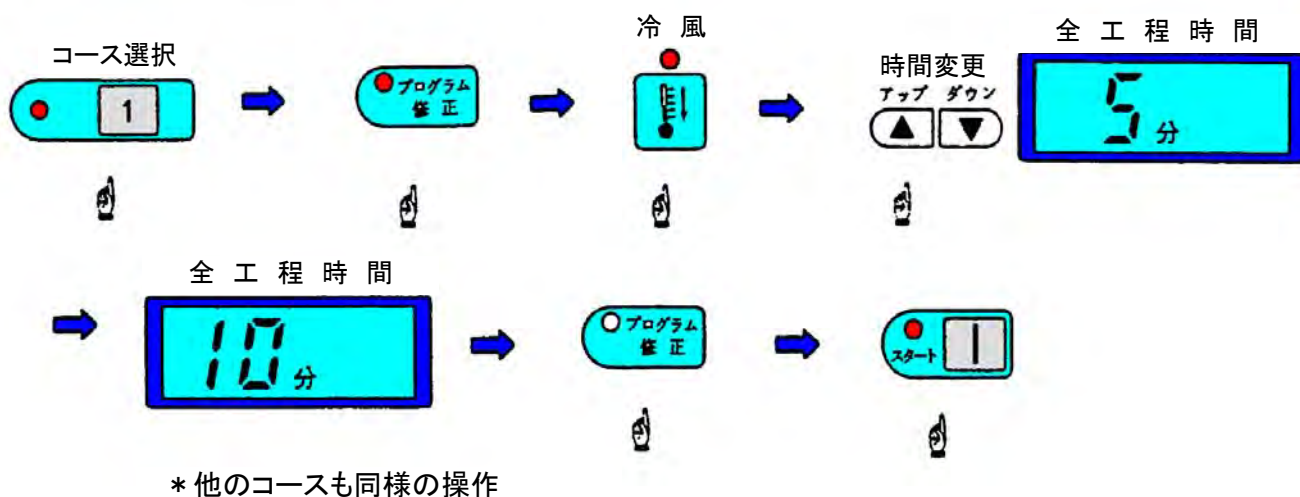


* 他のコースも同様の操作

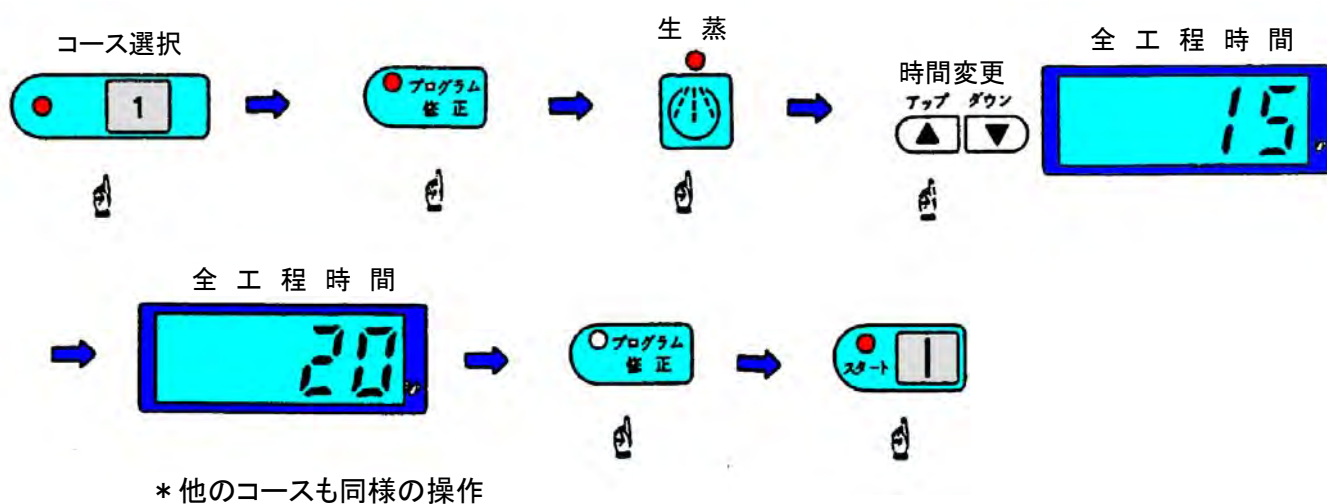
7-3 乾燥の温度を変更する時(コース 1) 標準入口温度60℃→50℃に変更



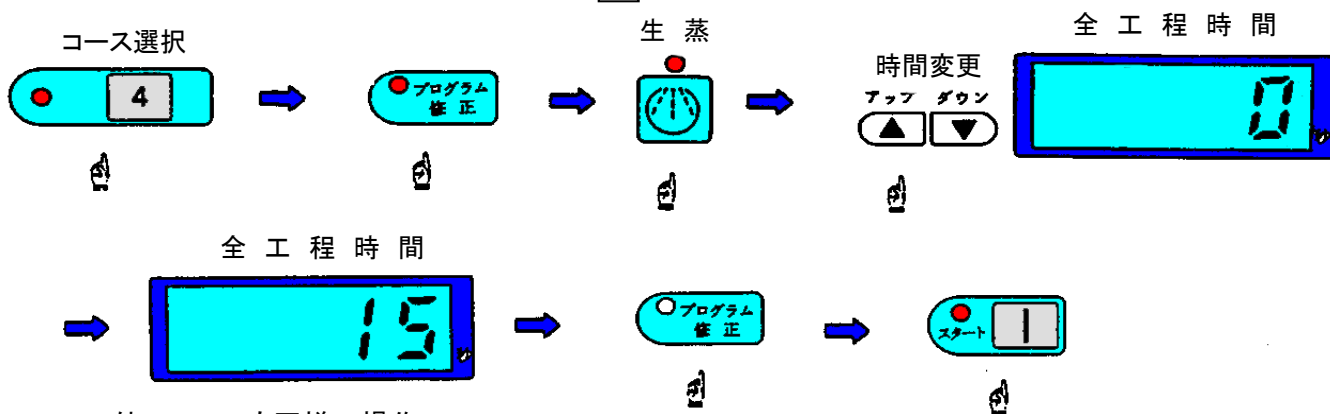
7-4 冷風の時間を変更する時(コース 1) 標準5分→10分に変更



7-5 生蒸工程追加(コース 1) 《生蒸はオプションです》

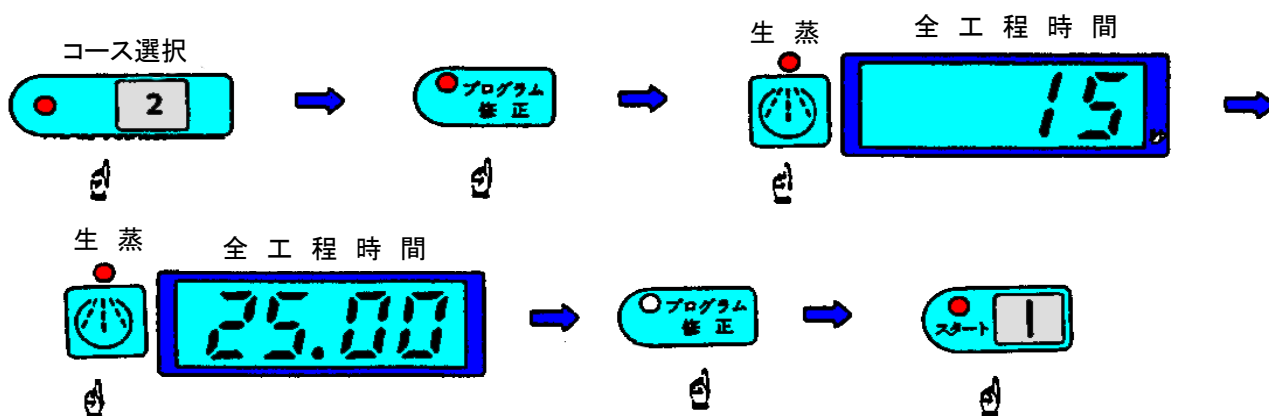


7-6 生蒸の時間を変更する時(コース 1) 《生蒸はオプションです》



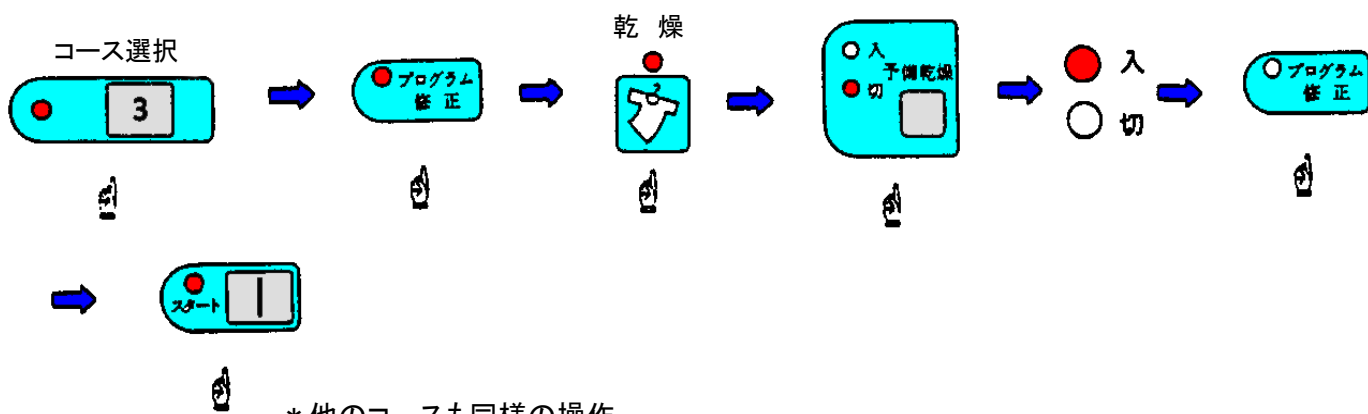
* 他のコースも同様の操作

7-7 生蒸工程を削除する時(コース 1) 《生蒸はオプションです》



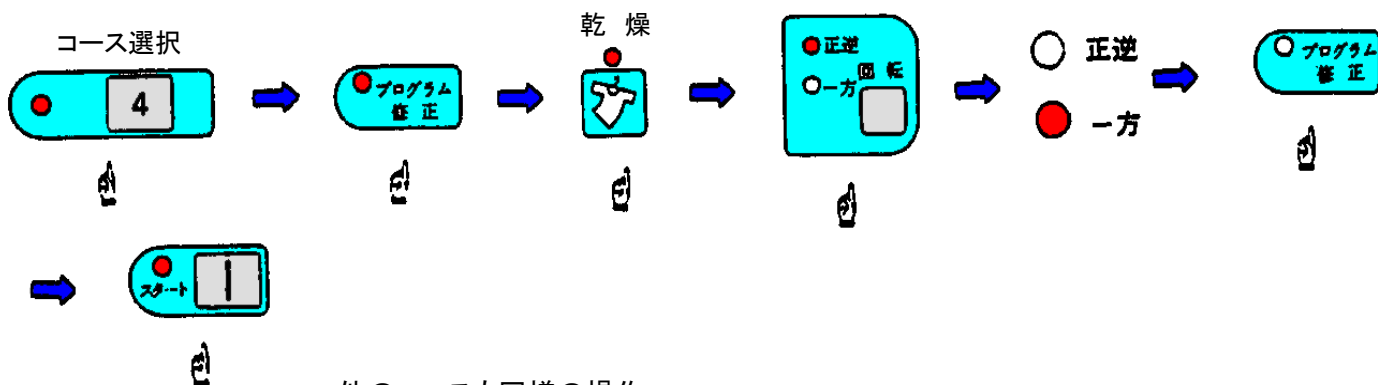
* 他のコースも同様の操作

7-8 予備乾燥の「入・切」の切換え(コース 3)



* 他のコースも同様の操作

7-8 ドラム回転の「正逆・一方」の切換え(コース 4)



* 他のコースも同様の操作

8, 整備点検

● 本機のもっている性能をフルに効果的に発揮させるため、次の点検を行ってください。

1. 電源電圧の変動はないか。
電圧 180～220V (AC200V±10%)の間にあるかどうか。
2. 漏電、その他、異常音、異常振動はないか。
3. Vベルトのノビはないか。----- 1ヶ月に1度
4. 各部締付部の緩み点検 ----- 1ヶ月に1度
5. リントフィルター ----- 5～6回に1度(日に1回)
6. ヒーターストレーナーの清掃 ----- 1週間に1度
7. 排気ダクト、冷却ダクトの点検 ----- 1ヶ月に1度
8. ベアリング部へのグリス注入 ----- 3ヶ月に1度

9, 機械の診断

NO.	故障内容	原因	処置
1	電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない	ヒューズ切れ 制御不良	ヒューズ入替 基板交換
2	ファンモーターが回らない	マグネットスイッチ不良 モーターの焼損	マグネットスイッチ点検 モーター点検、必要なら交換
3	スタートスイッチを押してもドラムが回転しない	モーターまでの通電なし マグネットスイッチ不良	モーター回路点検 マグネットスイッチ点検
4	ドラムの回転が異常に低い	Vベルトのゆるみ	Vベルトを適正に張る
5	温度が上がらない	ファンモーターの回転方向逆 スチームラップ 作動不良 リントフィルターつまり ボイラー圧力不足	モーター端子2線を逆に入替える スチームラップ 点検 リントフィルター掃除 ボイラー点検 (ファンモーターの回転方向は機械 前面より見てファンの回転が 反時計方向が正規の回転 方向です。)

10, 乾燥機標準チャート

時間 コース	乾 燥			生蒸(秒) ※	冷風(分)	合 計
	時間(分)	温度(℃)	予備乾燥有無			
1	20	60	—	—	5	25分
2	20	55	—	—	5	25分
3	20	50	—	—	5	25分
4	18	45	—	—	5	23分
5	—	—	—	—	10	10分
6	30	70	—	—	3	33分

※ 生蒸工程は、オプションです(時間を設定しても、生蒸は出ません)

11, 仕 様

No.	項 目		単 位	T-355
1	機械 寸法 W×D×H		mm	1200×1515×2040
2	ドラム内 寸法 (径×長さ)		mm	φ1100×860
3	負荷量 / JIMS		Kg	35/35
4	電 源		-	AC200V(3相) 50/60Hz
5	電動機容量	駆動	Kw	0.75
		ファン	Kw	0.75
6	ドラム 回転数		RPM	39
7	制御 方式		-	マイコン制御
8	温度制御 方式		-	入口/出口温度制御
9	生蒸 装置		-	オプション
10	蒸気使用 圧力		MPa	0.5～0.7
11	蒸気 消費量		Kg/h	60～70
12	蒸気 配管	入口 (給蒸)	A(吋)	20 (3/4)
		出口 (排蒸)	A(吋)	15 (1/2)
13	排気ダクト 口径		φ(mm)	φ250
14	機械 重量		kg	700

※本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご承知ください。

12. 保証とアフターサービス

● ご不明な点や修理に関するご相談

- ・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

● 保証書（別添）

- ・保証書は別途添付しております。
- ・保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
- ・本機の保証期間はお買い上げ頂いた日から1年です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

● 補修用性能部品の保有期間

- ・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「8年」です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理を依頼されるときは

- ・異常があるときは、お使いになるのをやめ、電源を切りましてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中

- ・保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合

- ・保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

《免責事項について》

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用又は使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

● この機械は「乾燥設備」です

《お願い》

- ・労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項、第299条により、お客様は1年に1回の自主検査を義務付けられています。
- ・そしてお客様はその記録を3年間保管するよう義務付けられています。
- ・機械を安全に操作し良好な状態に保つため、適切に使用し、適時清掃・点検を行ってください。
付きましては、サービスマンの定期保守点検サービス(有償)をご利用くださるようお勧めします。

● 廃棄するときは

- ・製品を廃棄するときは専門の廃棄業者へ依頼してください。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

